



農業簿記 V6 プログラムアップデート

2004/01/26

日頃は農業簿記 V6をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
農業簿記 V6にて不具合があり、ユーザ様にご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。

本プログラムアップデートを行うといくつかの不具合が解決されますので、最新版をダウンロードしていただくようにお願いします。

(修正項目の一覧は 4 頁目以降にあります。また、何点か機能改善が行われた箇所もあります。修正項目の詳細は別途文書をご覧ください)

引き続き、農業簿記 V6をご利用いただけますようお願い申し上げます。

注意

このアップデートプログラムを行える製品は農業簿記 V6

バージョン 6.00.00 ~ 6.00.06」です。

バージョンは製品のメニュー[ヘルプ]-[バージョン情報]にてご覧いただけます。
お間違いのないようお願いいたします。

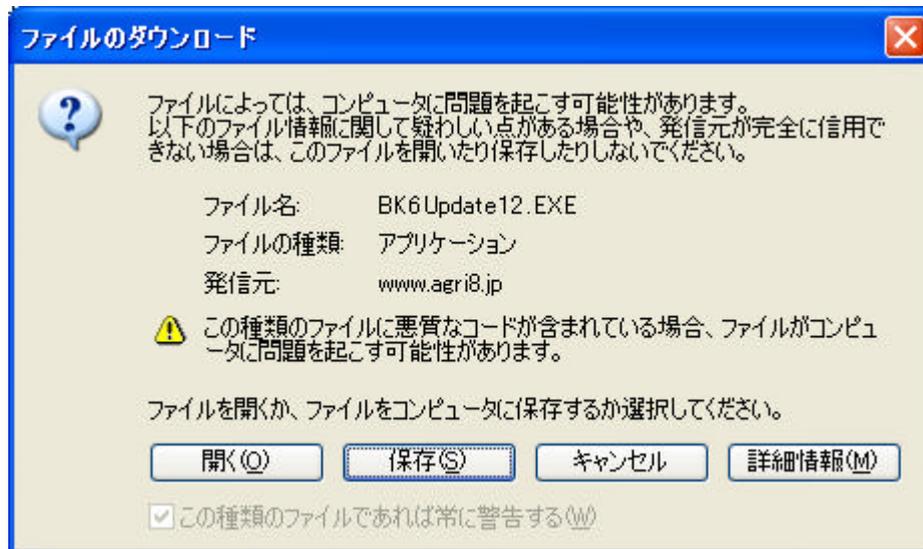
(他のバージョンをお使いの方は絶対アップデートしないで下さい)

特に 6.01.00 以降をお使いの方は絶対にアップデートしないで下さい)

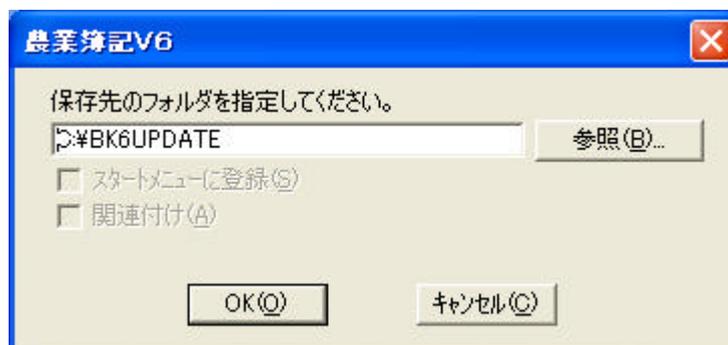
アップデートプログラムをお使いのパソコンの任意のフォルダにダウンロードしてください。

ダウンロード後、以下の方法によりインストールしてください。

1. 農業簿記V6が動作している場合は一旦終了させてください。
2. ダウンロードボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。
「このプログラムをディスクに保存する」を指定し、例えば、C:¥」に保存します。



3. ダウンロードしたプログラム (BK6Update12.EXE) を実行すると以下の画面が表示されます。
保存するフォルダを任意に指定し、OKボタンをクリックしてください。



- 4.自動的にアップデートプログラムのインストーラーが実行されます。
農業簿記 V6 がインストールされているフォルダを指定し、次へボタンをクリックしてください。



- 5.これで終了です。



解決される不具合 変更点

- ・平成15年版の申告書に対応
- ・農業仕訳博士を機能強化
- ・確定申告システム平成15年度版に対応
- ・育成資産管理ウインドウの下部に表示中の資産件数を表示するよう改善
- ・育成資産の減価償却一括振替にて、育成資産データの面積を振り替えて作成される減価償却資産データの数量に設定するように改善
- ・青色申告決算書印刷 / 収支内訳書印刷でOCR用紙が選択されている際に「減価償却のみ出力」チェックボックスをマスクするように変更
- ・データ作成で作られる勘定科目 仕訳辞書の課税区分を一部変更
- ・期末残高繰越処理の「前年度データ」に初期値を表示するように改善
- ・消費税情報設定で消費税処理方法を変更した際の仕訳辞書変更処理の改善
- ・育成資産管理にていくつかの不具合を修正しました。
 - ◇ 育成費用計算に比率表を選択していて、0歳の育成資産が登録されている場合に育成費用の計算を行うとアプリケーションエラーが発生することがあった
 - ◇ 育成資産の減価償却資産一括振替で、振り替えた減価償却資産の取得価額が正しくなく、など
- ・青色申告決算書印刷 / 収支内訳書印刷でいくつかの不具合を修正しました。
 - ◇ 収支内訳書(農業所得用)の出力に一部間違いがある
 - ◇ 青色申告決算書の農業用と一般用の両方を提出している場合に「青色申告特別控除額」の計算が正しくなく、場合がある、など
- ・減価償却資産登録にていくつかの不具合を修正しました。
 - ◇ 減価償却資産の検索で、資産区分を全てチェックオフにして検索 全てチェックオンにして再検索をすると資産が1件も表示されない、など
- ・減価償却費仕訳転送にていくつかの不具合を修正しました。
 - ◇ 減価償却費仕訳転送にて、「月別に転送する」の月入力欄にフォーカスがある状態でESCキーを押下すると画面上の項目が消える場合があった、など
- ・不動産収入管理にていくつかの不具合を修正しました。
 - ◇ 入金が登録済みの月の不動産収入登録ダイアログを開き、金額を変更 その行の1行削除 登録という操作を行うと、ダイアログで入力した合計金額と不動産収入管理ウインドウに表示されるその月の金額とが一致しなくなる場合があった
 - ◇ 不動産収入管理の仕訳転送にて、収入科目に指定した勘定科目が部門管理されている場合の仕訳に誤りがある、など
- ・消費税申告書作成にていくつかの不具合を修正しました。
 - ◇ 起動 終了を繰り返し行うと消費税申告書作成が起動しなくなる場合がある
 - ◇ 簡易課税の消費税申告書作成にて、部門管理されていない課税対象科目の金額が主要事業に集計されない場合がある、など
- ・利用者設定にて減価償却資産登録が減価償却登録と表記されている
- ・勘定科目設定の印刷で存在しないはずの科目が出力される

- ・ 簿記 V5 / V5 プラスのバックアップファイルからのデータ作成にて、最適化リスト開始メッセージでキャンセルを選択すると、作成先フォルダにあったデータファイルが削除していた
- ・ 仕訳データ受入にてテキストデータの課税区分が無視されていた
- ・ 簡易振替伝票で、前年仕訳からの取り込みを繰り返すと仕訳が取り込まれない場合があった
- ・ 仕訳日記帳・前年仕訳表示にて、その仕訳がどの処理で入力されたかを示すマークが正しく表示されない場合があった
- ・ 仕訳 2 段表示を行っている際に、振替伝票入力で入力した仕訳の一部を簡易振替伝票入力で変更している場合があった
- ・ 減価償却資産登録にて少額資産一括償却を選択した際の耐用年数の自動設定を変更
- ・ 簡易振替伝票入力にて仕訳のコピーを行った際に意図しない仕訳が作成される場合がある
- ・ 決算ガイダンスに画面の画像が表示されない箇所がある
- ・ 白色申告を選択している場合、振替伝票入力にて伝票登録時にエラーが発生する場合がある
- ・ 摘要別集計表で、指定した日付範囲以外の仕訳が集計される場合がある
- ・ 部門の数が 99 件登録されている時、共通部門の仕訳が入力できない 仕訳転送できない
- ・ V5 データからのコンバートで部門別の開始残高などが正しく引き継がれない
- ・ 元帳印刷にて月合計行の仕訳数・金額が正しくない
- ・ 元帳にて検索・ジャンプを行った場合の繰越残高が正しくない
- ・ データ件数が多い場合に特定のデータが表示されない 仕訳転送されない